



しんじゅくコール  
☎(3209)9999 FAX(3209)9900  
土・日曜日、夜間もご案内 午前8時～午後10時

発行 新宿区 編集 区政情報課 (毎月5・15・25日発行)  
〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 ☎(3209)1111  
ホームページ <http://www.city.shinjuku.lg.jp/>  
携帯電話版 <http://www.city.shinjuku.lg.jp/m/>



携帯電話用二次元コード

# 新宿区第二次実行計画を 「新宿力」で創造する、やすらぎと まちづくり実現のための 策定しました

# 「新宿力」で創造する、やすらぎと にぎわいのまちを実現するために



## パブリック・コメント(意見公募)等の実施結果と 計画に反映した主な内容

- **パブリック・コメント**
    - 267名(団体)から388件のご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。計画に反映した主要内容をお知らせします。
  - **区長と話そう**
    - 延べ419名が参加し、124件のご意見をいただきました。
    - ▼放置自転車の撤去及び啓発：「この枝事業名は、自転車の放置を啓発するよう

- **区民討議会**

55名が参加し、素案から選んだ19の計画事業について原案どおり実施すべきか、見直すべきか等の評価と判定を行いました。109件のご意見をいただきました。

▼雇用促進支援の充実：「縮小」「廃止」の判定が多かつたことを受け、24年度に、相談窓口機能の統合や体制整備等の見直しを行ふこととしました。

▼災害情報システムの再構築：「拡大」の判定が多かつたことを受け、新たに被災者生活再建支援システムを導入することとしました。

区では、平成19年12月に新たな基本構想・総合計画を策定し、平成20年度から的新宿区のめざすまちの姿やまちづくりの指針を明らかにするとともに、平成20年1月に平成20年度～23年度を計画期間とする第一次実行計画を策定し、推進してきました。

今回の第二次実行計画は、平成24年度～27年度に区が計画的・優先的に推進する事業をまとめたものです。

策定に当たっては、23年10月に素案を作成し、パブリック・コメント制度(意見公募)のほか、「区長と話そうじゅくトーク」や、無作為抽出した区民の方の参加による区民討議会などを実施し、区民の皆さんからお寄せいただいた多くのご意見を参考にしました。

今号では、計画の概要をお知らせします。計画の全文と、お寄せいただいたご意見・区の考え方は、企画政策課・広聴担当課(本庁舎3階)・区政情報センター(本庁舎1階)・特別出張所・区立図書館で閲覧できますほか、新宿区ホームページでご覧いただけます。また計画を掲載した冊子を区政情報センターで有償頒布します(ご意見・区の考え方をまとめた冊子は無料)。

今号では、計画の概要をお知らせします。計画の全文と、お寄せいただいたご意見・区の考え方は、企画政策課・広聴担当課(本庁舎3階)・区政情報センター(本庁舎1階)・特別出張所・区立図書館で閲覧できます。ほか、新宿区ホームページでご覧いただけます。また計画を掲載した冊子を区政情報センターで有償頒布します(ご意見・区の考え方をまとめた冊子は無料)。

【問合せ】企画政策課(本庁舎3階)☎(5273)3502・㈹(5272)5500へ。

平成24年度～27年度の4年間を計画期間とし、基本構想に定めた新宿区のめざすまた姿『新宿力』で創造する、やさらぎとにぎわいのまち』の実現に向けて、総合計画に示した区の施策を具体化した行財政計画で、今後の区政運営の具体的な指針となります。

**計画の構成**

計画事業は115事業で、4年間の事業費は約735億円を予定しています。主な計画事業は2面に掲載しています。

## 計画の概要

計画事業は115事業で、4年間の事業費は約5億円を予定しています。

基本構想（平成37年度の新宿を想定）

全牛

「新宿力」で創造する、やすらぎとにぎわいのまち

総合計画 平成20年度～29年度

## 第一次実行計画 20年度～23年度

## 第二次実行計画 24年度～27年度

第三次実行計画  
28年度～29年度

今年の寒さは格別ですね。そうした中でも日脚が伸びてロウバイ等の花も咲き始め、少しずつ春の訪れを感じられるようになつきました。▼先月の23日は旧正月。アジアでは、中国をはじめ旧正月を休となることから、新宿にもアジアから多くの観光客がみえていました。▼同じ23日、新宿区優良企業表彰を行いました。経営革新、経営基盤の強化などの取り組みで、地域産業の発展と向上に貢献した中小企業を表彰するものです。受賞したいずれの企業も優れた業績を挙げていますが、特に経営大賞・新宿区長賞の株式会社日本レーザーは、「会社は社員のものであり、お客様のものである」との理念の下、黒字経営を続けています。▼円高の進行など、中小企業の経営には激しい逆風が吹いています。その中で、社員の雇用と成長を守ることは大変なことだと思います。社員を中心に置き、尊重することで、社員のやる気や技術力も高まり、黒字経営が達成できているのです。日本レーザーの取り組みは、「日本でいちばん大切にしたい会社3」という本でも紹介されています。▼区では、新たな起業等を応援する高田馬場創業支援センターの4月からの利用者を、今月17日まで募集中です。これからも、新宿区の暮らしを支える活力のある観光や産業振興に力を注ぎ、誰もが訪れたくなり、住みたくなる持続可能な都市・新宿を実現していきたいと思います。